## 平成 30 年 10 月 18 日付【水道産業新聞】 日水協全国会議特集<基盤強化のあり方を考察> /ポジウム講師の論点

## シンポジウム講師の論点

## ビジョン諸施策を着実に

福岡市水道事業管理者 俊彦氏

システムを導入するな 用を図るための配水調整 れまで実に19回にも及る を推進し、効率的な水準 して「節水型都市つくり 願した異常泪水を染機と た。また、つ酸にわたり経 拡張事業を重ねてきまし 持つダムの建設など、こ の導水や潮水対策容量を 応するため、市域外から 薬剤設以来、都市の発展 市は、大正行年の水道事 に伴う水需要の増加に対 水資源に恵まれない本

きず、また、これまで水 人の大幅な仲ぴが明符で

ど、様々な工夫を凝らし 化を図ってまいりまし ながら水道事業の基盤機 今回のシンボジウムに

額開発に起債を活用して など、厳しい経営環境の

基盤強化へ3つの論点で 八戸園域水道企業団副企業長 勲氏

りです。1つは、地域に る当企築団の第4次総合 上下水道局との連携で いて幅広な視点での連携 は、来年度を初年度とす おける広域連携、2つめ 計画、3つめが岩手中部 広域水道企業団、盛岡市

**導ではなく、地域内にお** が生まれ、全でが八戸主

B)方式、老朽響更新工

る課題の解決に向けて、

また、水道事業体が抱え

サルタントの仕事です。

たデザイン・ビルド(D 手管材メーカーを活用し

くとともに、昨今、類発 えており、それらの更新 中で、都市の拡大に伴っ あります。 速かつ的確に対応できる ど、あらゆるリスクに迅 て整備を進めてきた水道 施設の整備や体制づくひ している大規模災害な 施設が大量里新時期を迎 に取り組んでいく必要が 需要に的確に対応してい これらの課題や社会状 いう使命を果たせるよ 備な水道水の安定供給と もに、財農化を着実に進 長寿命化を図りつつ計画 を目指しております。 的な更新に取り組むとと 質的な耐用年数を求め、 老朽度調査等に基づく家 維持・更新に当たっては、

な基本計画となる「福岡 め、平成名等う月に新た 祝の変化に対応するた まいります。(各種) なる経営を数の強化に向

に比べ企業債残高が多い きたことにより、他都市

けしっかりと取り組んで 腹策を着実に推進し、更 う、本ビジョンに掲げる 年数という概念には囚わ れず、柔軟に施設評価を 行いつつ効率的な更新を 管路に関しては法定財用

いますが、何よりも良い かします。協議会では4 協議会の活動の現況を終 の共同化を打ち出して める北奥羽地区水道事業 ※団が会長と事務局を務 最初の輸点では、当企 じています。 なるさらなる広域化に向 ジメントを駆使する中 造りを考える必要性も感 けたしっかりとした主 で、その次のステップと 心掛ける考えです。ま 考慮しつつアセットマネ た、ダウンサイジングを

を軸にした人事交流など とは既に相互の研修派遣 心に連携を強められれば るとともに岩手中部とも で、今後もこれを継続す 既に実績がありますの 連携については、盛岡市 同じく「人」の交流を由 岩手中部、盛岡市との サルタントが支援するこ なる部分について、コン 成も、その一環です。事 用の手引き (案)」の作 水道事業運営支援業務活 業の運営管理が不十分に 薬体の職員不足により事

体も真摯に呼応してくれ

の発信に対して各会員団 なと思っているのは当方

ていることです。結果と

して、そこには自立意識

の推進に取り組んでいる ?38」を策定し、各事業 巾水道長期ビジョン20 います。 とは1つの成果と感じて の機運が高まっているこ

と考えています。その中 でも特に私が期待してい

ら実りある研修を行うとうことです。

るのは三者で協議しなが とで着実に技術継承を行 コンサルタント同士が協

将来にわたり安全で良 より災害に強い水道 ことになると思います。 だった圏域内の石細管と が管路更新に充てられる 今の料金でも計画期間の これにより、長年の懸薬 費440億円のうち形形 施設整備に関わる総事業 10年はやれるというもの になりました。19年間の 2つめの総合計画は、

と考えています。「上下 薬体を支援していきたい コンサルタントがイニシ ます。この中では、我々 15-2025](水コ SCIVISIONSO 関わるさまさまなプレー 水道事業体と水道事業に ン梅ビションの中で、 年の月に公表した「人公 アティブをどり、水道庫 連携」の実現を掲げてい ーによる「多様な官民 市と館林市で実施して含 は、構成団体である太田 介します。同企業団で ことも想定しています。 経営判断などに関与する 群馬東部水道企業団を紹 官民連携の事例として

機築に係る整備事業は大 いても委託顧囲を拡大し 条予算に関する業務につ 業務の多くは包括的に委 すが、の冬子算に関する に、コア業務である経営 た包括業務委託を基軸 ており、広域化に伴う再 託しています。また、4 方針・計画業務は順常で ことが、これからのコン 更新のあり方、経営のあ 者の選定を支援しまし 事業をモニタリングする を提案すること、そして り方、官民連携のあり方 それに応じた施設や管路 課題はさまざまであり、 事業体によって事情や

水コン超では、平成分 とをイメージしており、

マネジメン で好循環を

福原 勝氏

し、スキームおよび受託 バイザリー業務」を得託 薬形態及び発注薬務プド 弊社では、「官民連携事 導入しています。なお、 シメント (CM) 方式を るために、水道機能の拡 策定し、10年間の投資と ビションの魔策を実現す 財政のパランスを精査し 側計画である基本計画を 張・改良・更新に関する 員会で策定順序を整理。 は、水コン協上水道小季 長期的・統合的な施設整 策を検討します。そして で、目標実現のための施 像・目標に反映させた上 業ビジョンにおける将来 について整理し、水道書 将来像や解決すべき課題 どの結果を基に、事業の 需要や財政収支見通しな ジメントで得られた更新 ています。 アセットマネ なると思います。 力していくことも必要に 計画づくりに関して

ンストラクション・マネ 事などは地元企業とのコ 全国上下水道コンサルタント協会 上水道委員会上水道小委員会委員 (日水コン水道事業部東京水道部副部長)

塩ピ管は解消できること

になります。このほか、

れとなります。 定するだけでなく、PD て経営戦略を策定する流 ころした各種計画は第

とが大事ですので、我々 トによる持続的なスパイ 3)の一体的マネジメン 理(モノ)、経営管理(カ 協力していきます。 ラルアップを実現するこ 管理体制 (人)、施設管 CAサイクルで回し計画 コンサルタントとしても の見真しを図ることで、

## 日水協全国会議特集 基盤強化のあり方を考察

方で、今後は料金収

はらつの論点で離むつも